

i-Catch LED Liner DS

アイ・キャッチ LED ライナーディーエス

型名： IPD-012 シリーズ

(LAN、USB メモリ仕様)

IPD-012-XXLW：白色 LED タイプ (XX: 連結数)

操作マニュアル

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

ご使用前には、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

もくじ

• もくじ	2
• 製品概要	3
• 基本操作の流れ	3
• アプリケーションソフト「iVE Editor」のインストール	4
• 「iVE Editor」の概要、ホーム画面	5
• アプリケーションソフト「iVE Editor」概要	5
• 「iVE Editor」起動画面（ホーム画面）、基本操作	5
• 通常モード→RSS+モードへの移行	5
• 「iVE Editor」の操作手順	6
• 編集モード「ダイナミックフレームモード」	7
• 管理者モードによる表示器の設定	8
• 「表示器追加、表示器の削除」	8
• 管理者モードへの移行	8
• 「表示器名」	8
• 「表示器のパネル数」	9
• 「設置の向き」	9
• 「通信設定」	9
• 「輝度設定」	9
• 表示器データの作成 / 編集手順	10
• 表示器データの作成 / 編集 【チャプター編集】	11
• チャプターの追加 / 削除	11
• チャプタータイトル	11
• チャプター編集→フレームレイアウト	11
• チャプター繰返し回数	11
• 表示器データの作成 / 編集 【フレームレイアウト編集】	12
• フレームレイアウト	12
• 編集フレーム選択→ステップ編集	12
• 表示器データの作成 / 編集 【ステップ編集】	13
• テキスト入力	13
• 画像入力	13
• 表示アクションの設定	14
• アクション速度を選択	14
• ステップの追加 / 削除	15
• アクション後のウェイトの調整	15
• 同期設定	15
• フレーム同期表示設定	16
• 構成例：	16
• ステップ編集例：	16
• 実際の表示例：	17
• 【参考】ビットイメージ作成方法	17
• 表示器データの表示器への登録、表示開始	18
• 登録方法・手順	18
• USBメモリーによる表示器データの登録	18
• ニュース表示機能設定、本機への登録	20
• ニュース表示機能について	20
• ニュース表示機能（RSSフィーダー）設定	20
• ニュース表示データの取込み、編集	21
• ニュース表示の開始	21
• お問い合わせ先	24

製品概要

● 「i-Catch LED Liner DS」本機 製品概要

- ・ LED 使用のメッセージ電光表示機です。
- ・ マスターユニット及びスレーブユニットで構成されます。
- ・ マスターユニット 1 台につき、スレーブユニットを最大 19 台まで接続できます。
- ・ 電源は AC/DC スイッチング電源を使用。本機自体は DC48V 駆動。
- ・ 表示内容は専用アプリにて編集可能、編集した内容以外に、RSS によるニュースメッセージを取得し、配信表示させることもできます。USB メモリまたは LAN 経由で登録を行います。

基本操作の流れ

表示器を設置

取扱説明書の「設置のしかた」を参照ください。

アプリケーションソフト「iVE Editor」にて表示器データの編集

付属の専用アプリケーションソフトにて表示器データの作成、編集を行います。

編集モードとして、通常モードと、RSS 機能を付加した「RSS+ モード」の 2 種類があります。

表示器データの作成、編集については、10 ページの「表示器データの作成 / 編集手順」を参照ください。

RSS 機能については 20 ページの「ニュース表示機能設定、本機への登録」を参照ください。

表示器への表示器データの書出し（登録）

USB メモリーモード

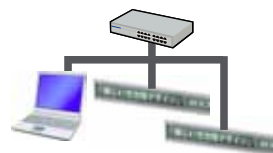
USB メモリーに表示器データを書出します。

書出した後の USB メモリーにて表示器データの書き換えを行います。



ネットワーク通信モード

作成した表示器データを表示パネル用の専用データに変換し、LAN に接続された複数の表示パネルに LAN 経由で登録を行います。



18 ページの「表示器データの表示器への登録、表示開始」を参照ください。

表示器

表示器データの更新

アプリケーションソフト「iVE Editor」のインストール

●アプリケーションソフト「iVE Editor」動作条件

OS	CPU	主記憶メモリ	ハードディスク空き容量	インターフェース	ディスプレイ
Windows 7 日本語版	OS のシステム条件に準じる。	100MB 以上		USB	1024x768 以上
Windows Vista 日本語版	OS のシステム条件に準じる。			LAN	

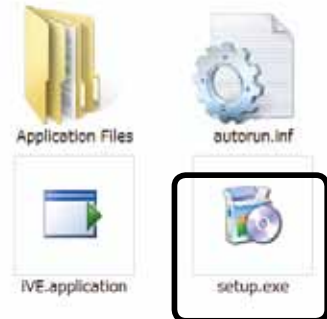
☝注意

- ・本アプリケーションソフトのインストールにはインターネットに接続されている必要があります。また Microsoft® の .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。インストールには管理者権限が必要です。
- ・インストール後の動作には Internet Explorer 7 以上がインストールされている必要があります。

●アプリケーションソフト「iVE Editor」のインストール

ご使用のパソコンの使用環境などにより、説明内容、画面と実際の内容、画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。本書での Windows の説明は、Windows XP の画面を使用しています。

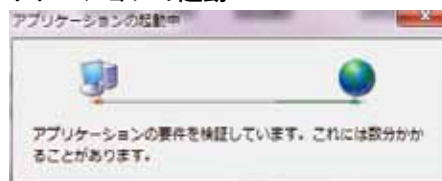
① setup.exe をダブルクリックする。



☝注意

.NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていない場合、.NET Framework 3.5 SP1 のインストール画面が表示されますので、指示に従いインストールを進めてください。

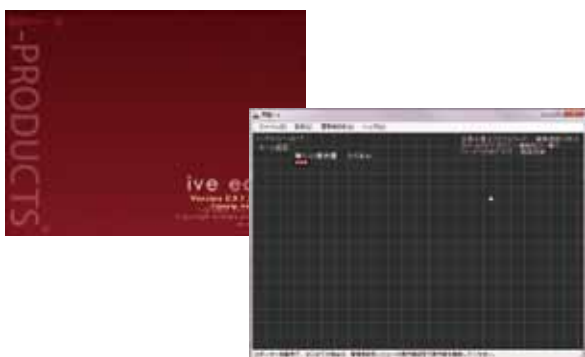
② アプリケーションの起動



③ 「インストール」をクリックする。



⑤ インストール完了



インストールが完了しますと、自動的に iVE Editor が起動します。

④ インストール開始



- ☝注意 Internet Explorer 7 以上がインストールされていないとその後の動作が不安定になります。本アプリケーションソフトは "ClickOnce" に対応しております。インターネットに接続している環境であれば、オンラインアップデートが可能となります。

「iVE Editor」の概要、ホーム画面

アプリケーションソフト「iVE Editor」概要

本機の表示に必要なLED表示部の文字、ビットイメージ表示の作成、設定、編集が行えます。このアプリケーションソフトにて以下のようなことができます。

- ・i-Catch LED Liner DS に登録する表示器データの新規作成、編集、保存ができます。
- ・文字表示作成またはビットイメージの表示選択が行え、各種アクション表示選択にてさまざまなアクション表示ができます。
- ・i-Catch LED Liner DS に登録する表示器データのUSBメモリーまたは任意の位置への書き出し及び、LAN経由にて直接i-Catch LED Liner DS に登録、表示が行えます。
- ・RSSによるニュース配信が行えます。(インターネットに接続しているパソコンに本アプリケーションソフトを常駐させる必要があります。)

ご注意 iVE Editor を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集することは著作権法上、個人的にその複製物や編集物を使用する場合に限られます。このような利用方法はお控えください。

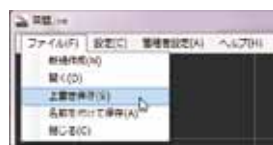
また、iVE Editor において写真の画像データ、映像などを利用する場合は、上記著作権侵害をすることとなりますのでそのような利用方法もお控えください。

「iVE Editor」起動画面（ホーム画面）、基本操作

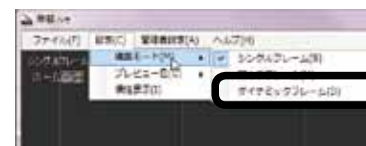
インストール、起動後、下図のような画面が表示されます。



黒色のウインドウエリアをドラッグ及び、マウスホイール操作で見易い位置への移動、サイズ変更が可能です。



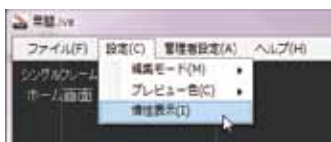
①ファイル
表示器データの新規作成、保存等を行います。



②-①設定→編集モード
ダイナミックフレームモードを使用します。
→7ページの「編集モード「ダイナミックフレームモード」」参照



②-②設定→プレビュー色
表示プレビュー色を白または赤を選択します。



②-③設定→慣性表示
ドラッグ操作時の画面の動きを変更できます。



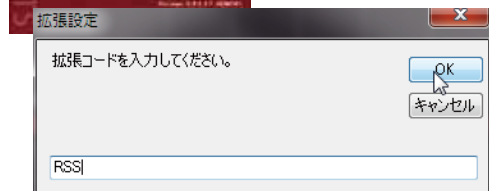
③管理者設定
表示器設定画面に移行します。
→8ページの「管理者モードによる表示器の設定」参照

通常モード→RSS+モードへの移行

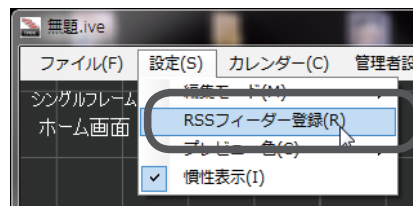
RSSによるニュース配信を行う場合、「RSS+」モードへの移行が必要です。



①起動中の下の画面表示中に、「Shift」を長押しします。



②「拡張設定」画面が表示されますので、拡張パス「RSS+」と入力します。以降は自動的にRSS+モードで起動します。



③RSS+モードで起動しますと、「設定」に「RSSフィーダー登録」が追加されます。RSSフィーダーの登録は20ページの「ニュース表示機能設定、本機への登録」参照ください。

「iVE Editor」の操作手順

iVE Editor を使用して、表示器の設定→表示器データの作成 / 編集→表示器データの登録までの操作手順を説明します。

①編集モードの設定を行います。

本ソフトウェアでは、3つの異なる編集モード（シングルフレームモード、マルチフレームモード、ダイナミックフレームモード）が使用できますが、本機 i-Catch LED Liner DS にはダイナミックフレームモードを選択し操作を行います。



シングルフレームモード

使用しません。

マルチフレームモード

使用しません。

ダイナミックフレームモード

②管理者モードによる表示器の設定を行います。



管理者モードを選択しますと、ウインドウ色がグレーになり、管理者モードに移行します。

管理者モードで下記を設定します。

表示器の追加 / 削除

連結数の設定

各表示器の名前

設置の向き

通信設定（IP アドレス、TCP ポートの設定）

輝度設定

設定方法は 8 ページの「管理者モードによる表示器の設定」参照ください。

③表示器データの作成 / 編集を行います。



各編集モード上でチャプター、フレーム設定後、ステップ編集画面にて表示内容、表示アクションの編集、RSS フィーダーの選択（RSS+ モード時に有）を行います。

10 ページの「表示器データの作成 / 編集手順」から参照ください。

④表示器データの表示器への登録



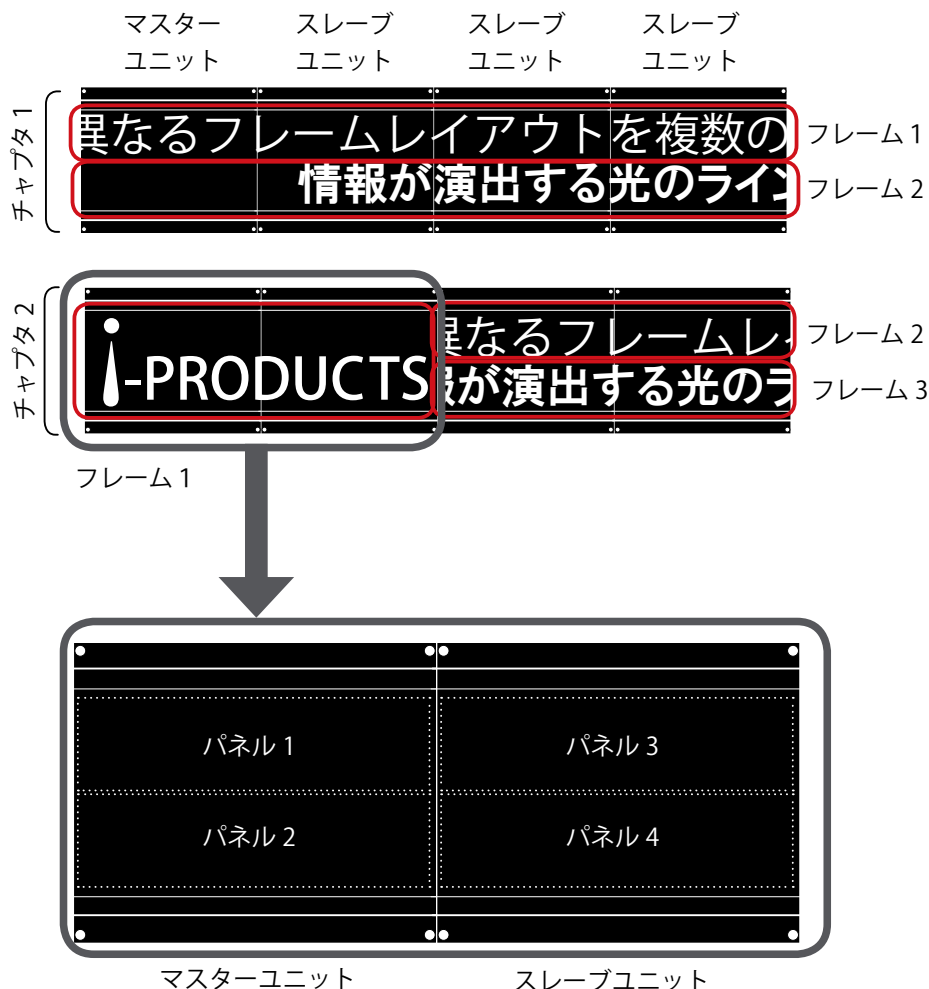
編集終了後、ホーム画面に戻り表示器データを USB メモリーへ書出し、または直接 LAN 経由で表示器へ通信登録を行います。

18 ページの「表示器データの表示器への登録、表示開始」を参照ください。

編集モード「ダイナミックフレームモード」

ダイナミックフレームモードを選択し操作を行います。本機においては、下記のような操作が行えます。

4 連結品での表示例



チャプター毎に異なるフレームレイアウトが出来るほか、パネルの配置も自由にでき、自由度の高い多彩な表示表現が可能です。

左図の通り、4 連結を水平に設置の場合、上下 2 段での表示や、全面を使用し大きい高精細な 1 段表示が可能です。

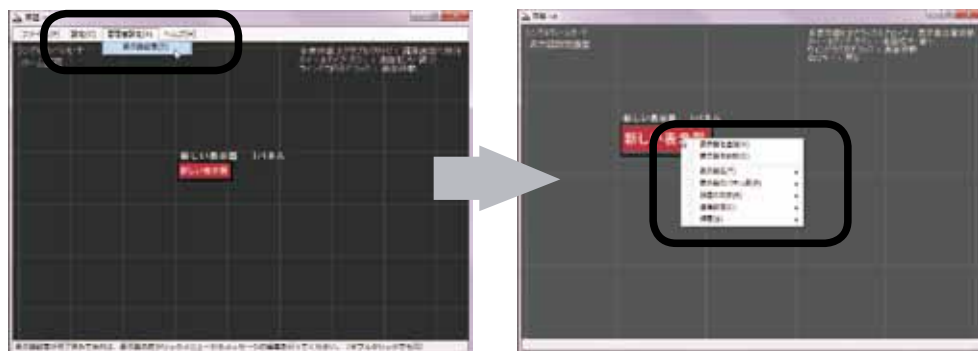
ご注意

- 表示器ユニットは LED パネル上下 2 枚で構成されております。本ソフトウェアで編集する場合は配置に応じたパネル設定が必要です。パネル設定については、9 ページの「表示器のパネル数」を参照の上、正しく設定ください。
- フレームを 2 つ以上設定し、各フレームにて複数のステップ編集を行う場合は、「フレーム同期表示設定」が必要な場合があります。同期表示設定については、16 ページの「フレーム同期表示設定」を参照ください。

管理者モードによる表示器の設定

iVE Editor 起動→編集モード選択後、表示器の登録、各種設定を行います。

管理者モードへの移行



- ① 管理者設定→表示器設定を選択しますと管理者モードに移行します。ホーム画面同様、マウス操作で見易い位置への移動、サイズ変更が可能です。

初期起動時に表示されている表示器アイコン上で右クリックしますと、表示器設定メニューが表示されます。配置する表示器ごとに設定します。

「表示器を追加」、「表示器を削除」：表示器の追加、削除を行います。表示器はドラッグで任意の位置に移動できます。

「表示器名」：任意で表示器に名前を付加することができます。

「表示器のパネル数」：表示器のパネル数を設定します。

「設置の向き」：実際に設置される表示器の向きを設定します。

「通信設定」：表示器に予め設定されたネットワーク配信用の IP アドレス、ポートを設定します。

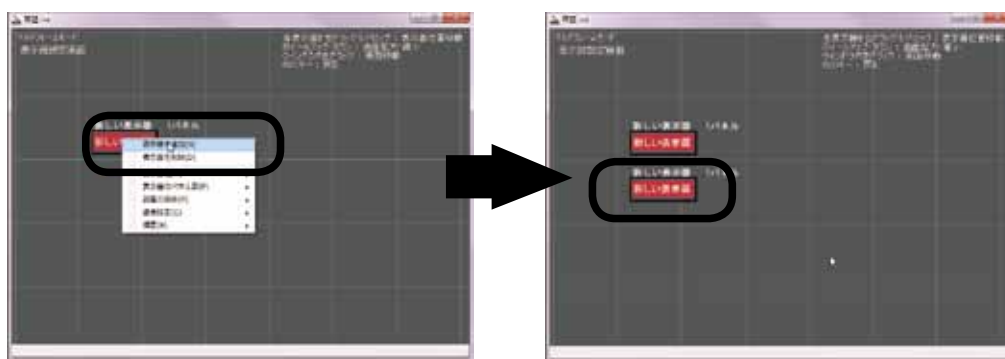
「輝度」：表示器の明るさを設定します。初期値は 10 に設定されます。

設定を管理者のみの取扱いとしたい場合等、管理者設定メニューを隠すことができます。

- ① 「ヘルプ」→「バージョン情報」を選択し、バージョン表示が出ている間に、「Shift」キーを長押しする。
- ② 「Admnc」と入力し「OK」をクリック
- ③ メニューから「管理者設定」が削除されます。
- ④ 再度追加したい場合は同様の操作で「Admin」と入力します。

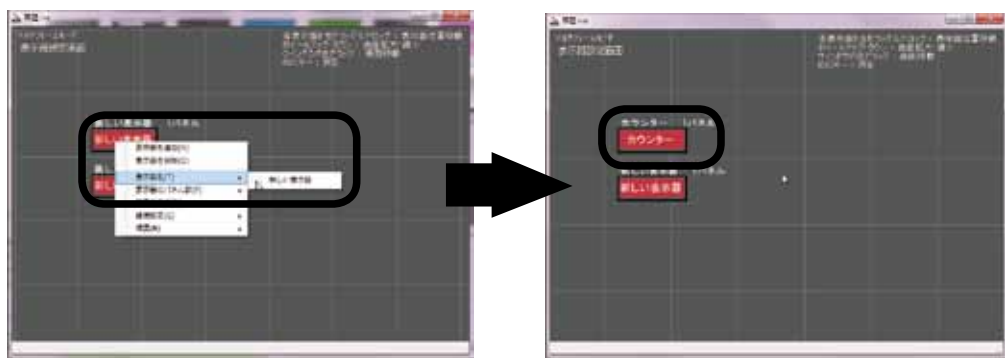


「表示器追加、表示器の削除」



- ① 「表示器を追加」を選択すると新しい表示器が作成されます。ドラッグで任意の位置に移動できます。

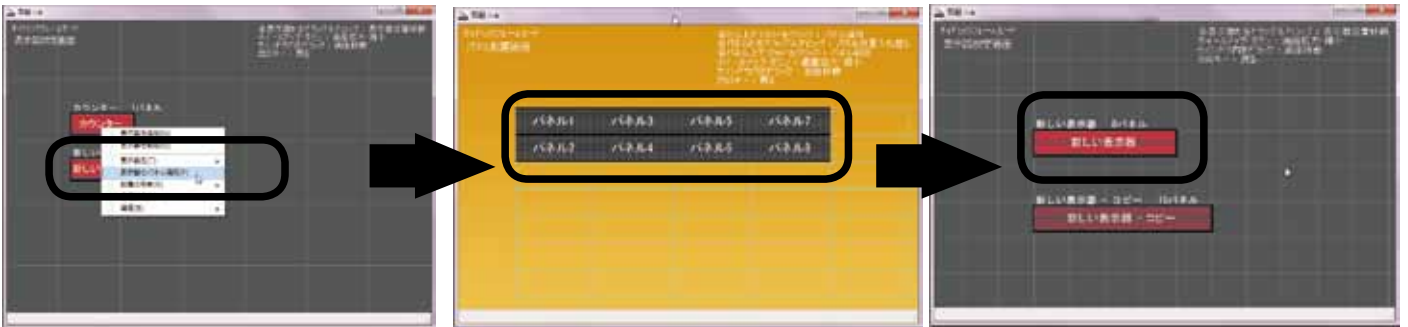
「表示器名」



- ① 「表示器名」→「新しい表示器」を任意の名前に変更します。
- ② 変更後、表示器上の名前が変わります。各表示器ごとに設定出来ます。

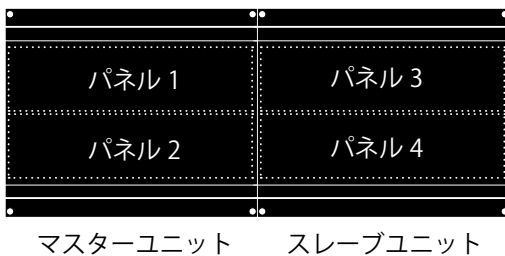
「表示器のパネル数」

表示器のパネル数を設定します。各表示器ごとに設定が必要です。かならず下記の通り設定してください。



- ① 「表示器のパネル構成」を選択しますと、「パネル配置画面」が表示され、パネルの配置を行います。
- ② 「CTRL」+左クリック：パネル追加
「CTRL」+右クリック：パネル削除
各パネルを左ドラッグ&ドロップ：入れ替え
- ③ 完了後、「ESC」キーを押しますと入力した連結数に変わります。

設置例：2 連結水平に設置した場合



設置方向に関わらず、上図の通り、奇数パネルを上段に、偶数パネルを下段へ設定します。

ご注意

表示器ユニットは LED パネル上下 2 つで構成されております。本ソフトウェアで編集する場合は必ず上図のようなパネル設定が必要です。それ以外の設定を行いますと、表示ズレが発生します。

「設置の向き」



設置の向きを設定します。表示器の設置方向、条件に合わせて一般的に下記設定を選択してください。

- 「横標準←」：マスターユニットを左側にして、水平に設置する場合
- 「横倒立→」：マスターユニットを右側にして、水平に設置する場合
- 「縦標準↑」：マスターユニットを下側にして、垂直に設置する場合
- 「縦倒立↓」：マスターユニットを上側にして、垂直に設置する場合

表示器の配置については、取扱説明書の「設置の向き」を参照してください。

「通信設定」



ネットワーク配信する場合に設定します。表示器に設定された IP アドレス、ポート番号を設定します。**USB メモリを使用する場合は設定は不要です。**

ご注意 表示器本体への LAN 設定も必要です。取扱説明書の「表示器の LAN 通信設定」を参照ください。

「輝度設定」



輝度の設定を行います。10 段階変更できます。表示器単位で変更可能です。

表示器データの作成 / 編集手順



編集モード設定、管理者モード設定後、ホーム画面上の表示器上をダブルクリックすることで作成 / 編集開始となります。

選択した編集モードに依り、表示器データの作成 / 編集方法、手順が異なります。



ダイナミックフレームモード



①チャプター編集

さまざまな構成のフレーム、表示アクションを持つことができるチャプターを作成 / 編集します。

追加の必要が無い場合は、②フレームレイアウトに進みます。



②フレームレイアウト

表示器ユニット内に一つまたは、2つ以上の違った表示内容、アクション表示を行う為のフレームをレイアウトします。



③編集フレーム選択

表示器データを作成、編集したいフレームを選択します。



④ステップ編集

文字、ビットイメージ画像を入力し、フォント設定、アクション設定等を行います。

11 ページの「表示器データの作成 / 編集 【チャプター編集】」へお進みください。

操作手順

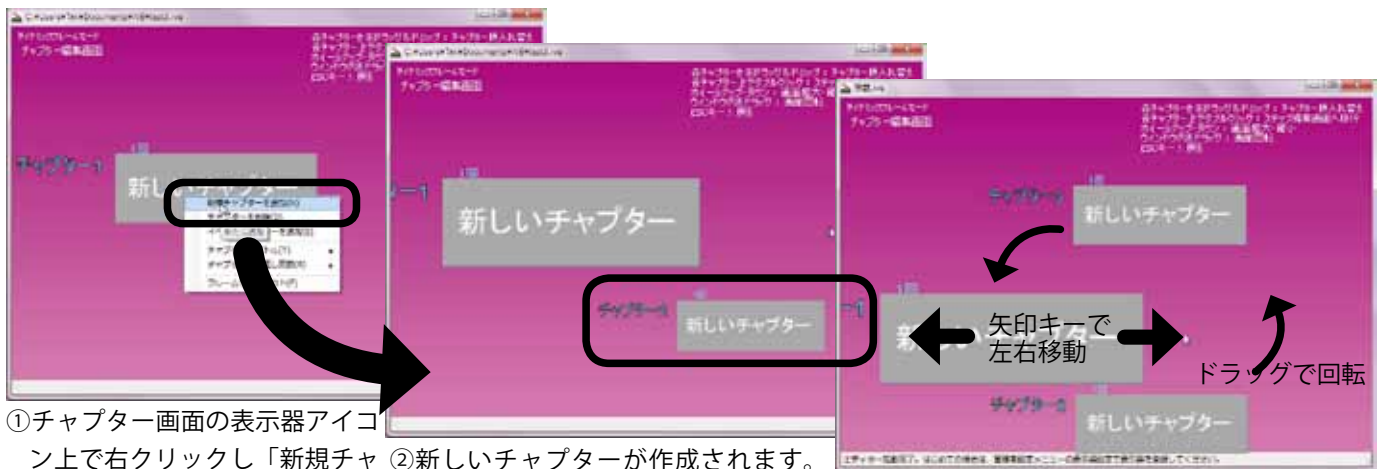


表示器データの作成 / 編集 【チャプター編集】

さまざまな構成のフレーム、表示アクションを持つことができるチャプターを作成 / 編集します。

一定のフレームレイアウトで編集する場合など、追加の必要が無い場合は、12 ページの「表示器データの作成 / 編集 【フレームレイアウト編集】」へ進みます。

チャプターの追加 / 削除



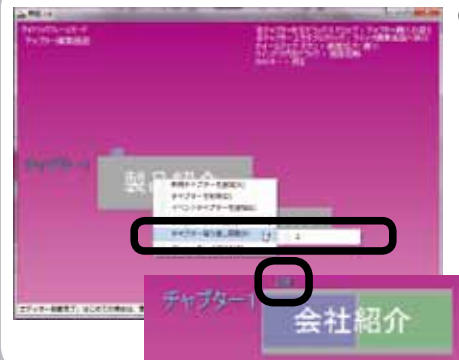
- ①チャプター画面の表示器アイコン上で右クリックし「新規チャプター追加」を選択しますと新規チャプターが追加されます。「CTRL」キーを押しながら行きますと、コピーできます。
- ②新しいチャプターが作成されます。「チャプターの削除」で削除、再度作成も可能です。
- ③ピンク色のウィンドウエリアをドラッグ及び、マウスホイール操作で見やすい位置への移動、サイズ変更が可能です。矢印キーで左右の移動もできます。

チャプタータイトル



- ④「チャプタータイトル」で任意の名前に変更します。チャプター上の名前が変わります。各チャプターごとに設定出来ます。

チャプター繰返し回数



- ⑤「チャプター繰返し回数」でチャプターの表示繰返し回数を設定します。繰返し回数で設定された回数を表示後、次のチャプターの表示開始となります。

チャプター編集→フレームレイアウト



- ⑥「ESC」キーを押すか、「チャプター編集へ戻る」を選択し、チャプター編集画面に戻ります。レイアウト終了後のチャプター編集画面には、作成したフレームの構成が表示されます。
- ⑦フレームレイアウト終了後のチャプター上をダブルクリックしますと、「編集フレーム選択」画面に移行し、「ステップ編集」へと進みます。「編集フレーム選択」→「ステップ編集」については12 ページの「表示器データの作成 / 編集 【フレームレイアウト編集】」参照ください。

表示器データの作成 / 編集 【フレームレイアウト編集】

表示器ユニット内に一つまたは、2つ以上の違った表示内容、アクション表示を行う為のフレームをレイアウトします。
例として3連結品の表示器に上下2つのフレームをレイアウトすることを例として説明します。

フレームレイアウト

例：3連結の表示器内に2つのフレームレイアウト



①フレームレイアウト画面

青色のウィンドウエリアをドラッグ及び、マウスホイール操作で見易い位置への移動、サイズ変更が可能です。

ご注意

フレームを2つ以上設定し、各フレームにて複数のステップ編集を行う場合は、「フレーム同期表示設定」が必要な場合があります。同期表示設定については、16ページの「フレーム同期表示設定」を参照ください。



②パネル上に任意のフレームをレイアウトします。パネル上でドラッグ/移動でレイアウトできます。

例：

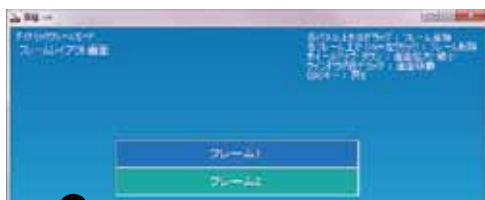
パネル1、3、5に**フレーム1**をレイアウト
パネル2、4、6に**フレーム2**をレイアウト

フレームレイアウトは
パネル単位で行えます。

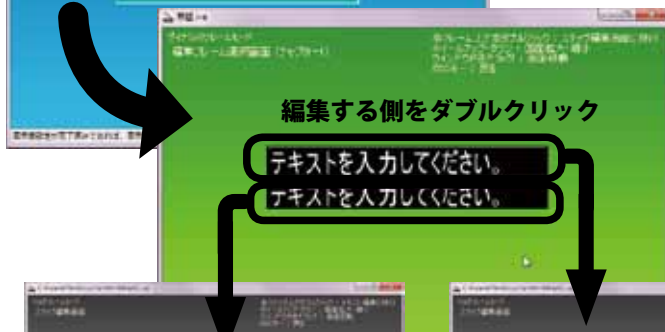


作成したフレームは「Shift」キー + クリックで削除し、再度レイアウトできます。

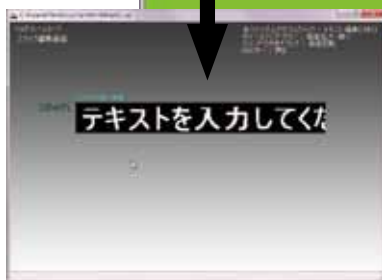
編集フレーム選択→ステップ編集



③レイアウト完了後、フレーム内右クリック→「編集フレーム選択へ戻る」又は、「ESC」を押しますと、「編集フレーム選択画面」に移行します。



④「編集フレーム選択画面」で、表示器データを作成、編集したい側のフレームをダブルクリックします。緑のウィンドウエリアをドラッグ及び、マウスホイール操作で見易い位置への移動、サイズ変更が可能です。



フレーム1側のステップ編集



フレーム2側のステップ編集

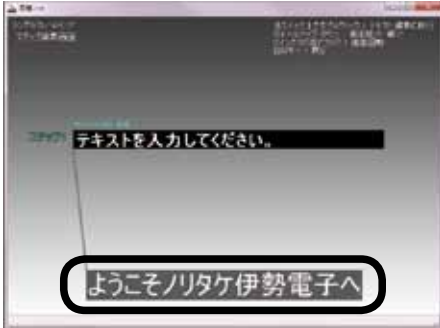
⑤「ステップ編集画面」が表示され、表示内容、アクション表示設定等を行います。「ステップ編集」については、13ページの「表示器データの作成 / 編集 【ステップ編集】」にお進みください。

表示器データの作成 / 編集 【ステップ編集】

文字、ビットイメージ画像を入力し、フォント設定、アクション設定等を行います。

テキスト入力

任意の文章を入力します。他からカット&ペーストして貼りこむことも可能です。



ご注意

複数行、複数段での表示は別途それに応じたパネル設定が必要です。

①表示されたステップ画面をダブルクリックしますと、テキスト入力画面が表示され、テキスト入力を行います。プレビューエリアへのマウスオンで各ステップの設定状態の確認が行えます。

②フォントの選択、書字方向、フレーム回転の設定を行います。

「**フォント選択**」：フォントの選択を行います。フォントサイズは最大 409 ポイントまで設定可能です。フォントの種類によっても変わりますが、全画面で 1 行表示する場合のサイズは 50 ~ 52 ポイントがお奨めです。



「**RSS 取込み**」：登録済みの RSS フィーダーグループの選択を行います。

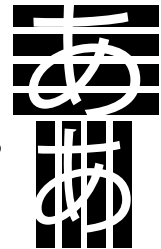
ご注意 RSS+ モード時に有効な機能です。ニュース表示機能については 20 ページの「ニュース表示機能設定、本機への登録」を参照ください。

「**書字方向**」：縦書き、横書き表示を選択します。

「**フレーム回転**」：表示器の設置の向きに対する、表示の向きを設定します。

例 1：表示器を水平に 4 段設置し、縦書きで下から上向きに表示する場合。

書字方向：縦書き、フレーム回転：90 度

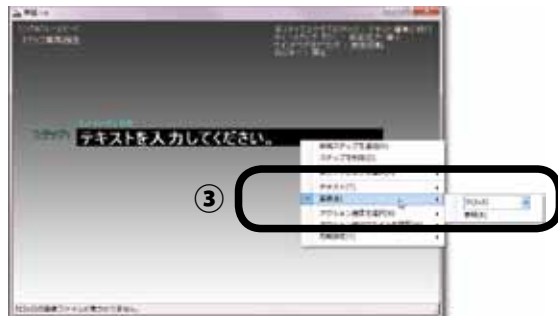


例 2：表示器を垂直に 4 列設置し、横書きで左から右向きに表示する場合

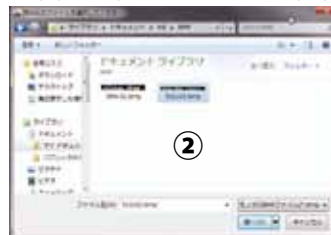
書字方向：横書き、フレーム回転：270 度

画像入力

テキストの代わりに、企業、ブランドのロゴなどをビットイメージ画像として登録し、表示することも可能です。ビットイメージ画像の作成方法例については、17 ページの「【参考】ビットイメージ作成方法」を参照ください。



①まずはビットイメージ画像の登録を行います。プレビュー画面上で右クリックし、「画像」→「参照」を選択します。



②予め用意したビットイメージ画像を選択し「開く」をクリックします。

③登録が完了となり、左図の通りメニューにビットイメージ画像のファイル名が表示され選択が可能になります。



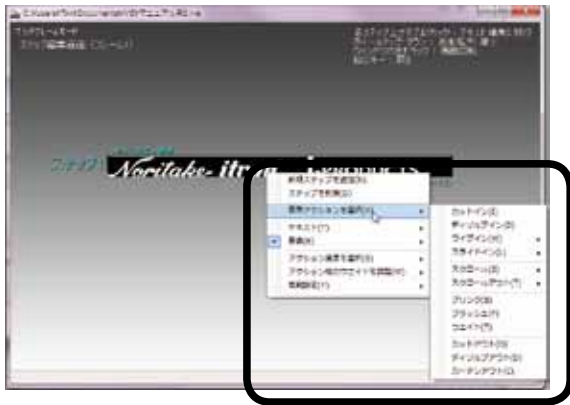
④選択した画像がプレビュー画面に表示されます。

ご注意 フレームレイアウトにて設定された表示エリアサイズより大きいまたは小さい画素数で作成されたイメージ画像を表示した場合、自動的に表示エリアサイズにフィット表示されます。(スクロール、スライドアクション指定時を除く)

表示器データの作成 / 編集 【ステップ編集】

表示アクションの設定

テキスト入力またはビットイメージ画像入力後、表示アクションの選択を行います。



- ①ステップ画面上で右クリックし、「表示アクションを選択」しますと、各種アクションが右側に表示されます。
- ②表示アクションを選択します。

表示アクション説明

入力した表示器データに付加する表示アクション：

- カットイン： 表示器データが静止した状態で表示されます。ウェイトを入れてお使いください。
- ディゾルブイン： 表示器データがディゾルブ表示されます。
- ワイプイン： 湧き出し表示します。
- スライドイン： スライド表示します。
- スクロール： スクロール表示し、画像、文章が通過せずに末尾で停止します。
- スクロールアウト： スクロール表示し、画像、文章が通過します。

直前のステップの表示器データに付加する表示アクション：（「直前画面」と表示されます。）

- ブリンク： 直前の表示器データが点滅表示表示します。
- フラッシュ： 直前の表示器データがフラッシュ点滅表示表示します。
- ウェイト： 直前の表示器データにウェイトを入れます。

- ご注意** ・各ステップに直接ウェイトを入れることも可能です。次ページ参照。
- ・フラッシュアクションを選択しますと、高速で点滅表示します。健康障害を引き起こす可能性がありますので十分にご注意の上、ご使用願います。

直前のステップの表示器データをクリアする為の表示アクション：（「直前画面」と表示されます。）

- カットアウト： 直前の表示器データをクリアします。
- ディゾルブアウト： 直前の表示器データがディゾルブ→クリアします。
- カーテンアウト： 直前の表示器データに対し左右から内側へのカーテン表示を行います。

- ご注意** ・カットアウト、ディゾルブアウトを入れずに次のステップで表示器データを入力すると、直前の表示器データの一部が残ってしまう場合があります。

アクション速度を選択

各表示アクションの速度を調整します。



- ①ステップ画面上で右クリックし、「アクション速度を選択」を選択します。

次の表示アクションの速度が調整できます。

- ワイプイン： 湧き出し速度を調整します。
- スライドイン： スライド表示速度を調整します。
- スクロール： スクロール表示速度を調整します。
- ブリンク： ブリンク表示速度を調整します。
- フラッシュ： フラッシュ表示速度を調整します。
- ウェイト： ウェイト時間を調整します。

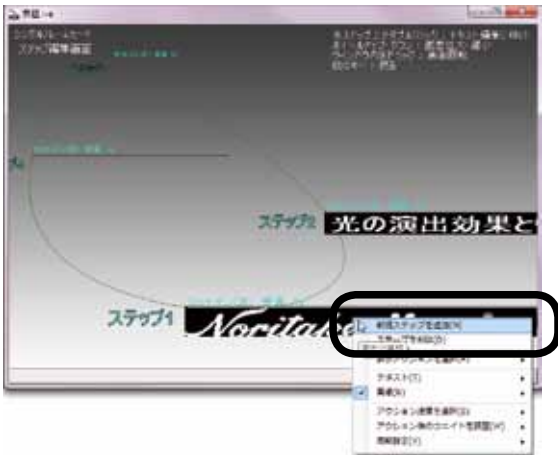
速い：約1秒、**普通**：約2秒、**遅い**：5秒

「速い」→「普通」→「遅い」の三段階で調整できます。

- ②調整後、アクション速度がステップ画面上に表示され確認できます。

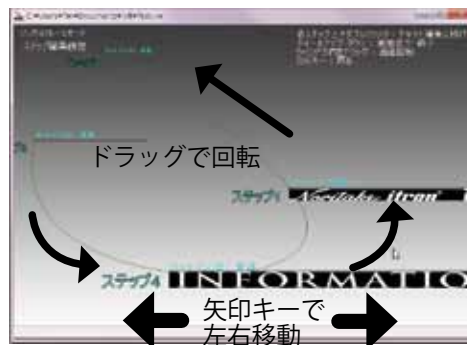
ステップの追加 / 削除

複数の表示アクションを繋げて表示させたい場合、ステップの追加 / 削除を行います。



表示順としては、ステップ1から順番に表示されます。
例えば、ステップ1とステップ2の間に追加したい場合は、ステップ1上で同様の操作を行ってください。

- ①ステップ画面上で右クリックし、「新規ステップを追加」を選択しますと、新たに編集可能なステップが追加されます。「CTRL」キーを押しながら行いますと、コピーできます。
- ②同様に文字、ビットイメージ画像データ、アクション表示等の設定を行います。
- ③「ステップの削除」で削除できます。



ステップ画面以外のウインドウ内をドラッグ + 移動でステップ画面を見やすい位置に移動できます。矢印キーで左右の移動もできます。

アクション後のウェイトの調整

各ステップ毎に入力した表示器データを、設定されたアクション表示後に一定時間静止させる場合に使用します。



- ①ウェイト調整するステップ画面上で右クリックし、「アクション後のウェイトの調整」を選択します。
- ②ウェイト時間を入力します。10以上の数値を入力してください。数値と実際のウェイト時間の関係は以下の通りです。
「10」：約0.1秒、「50」：約0.5秒、「100」：約1秒
- ③ウェイト調整後、ウェイト時間がステップ画面上に表示され確認できます。



同期設定

複数のフレームの間で、同時に揃ってアクション表示をさせる等、連携した表示をさせる場合に使用します。



より高度で多彩な表示アクション表現が必要な場合に使用する機能です。**不要な場合は設定の必要はありません。**

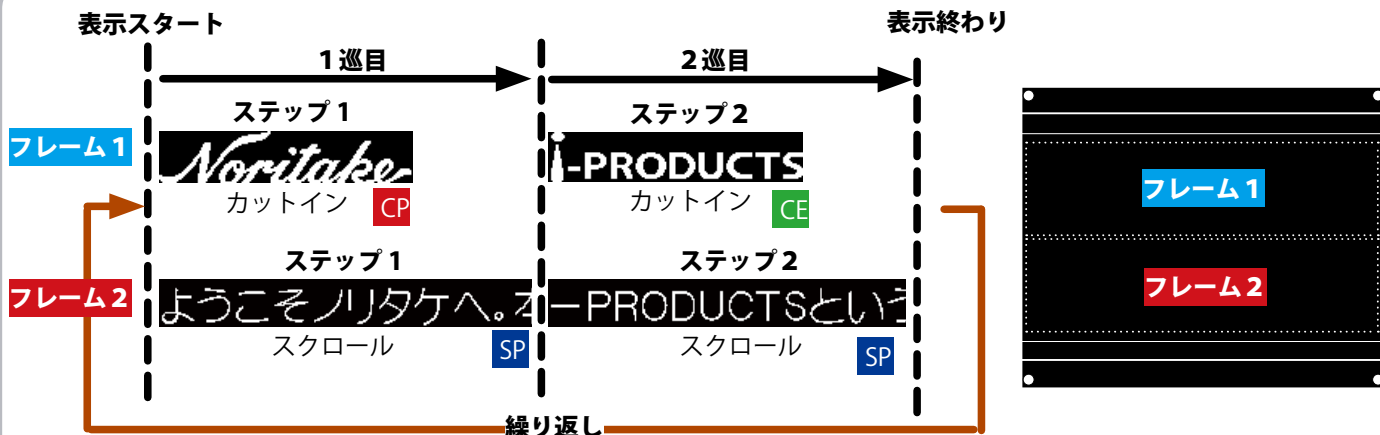
詳細説明については次ページ「フレーム同期表示設定」を参照ください。

同期設定しない場合は、18ページの「表示器データの表示器への登録、表示開始」へお進みください。

フレーム同期表示設定

フレーム別に同期表示設定を行います。

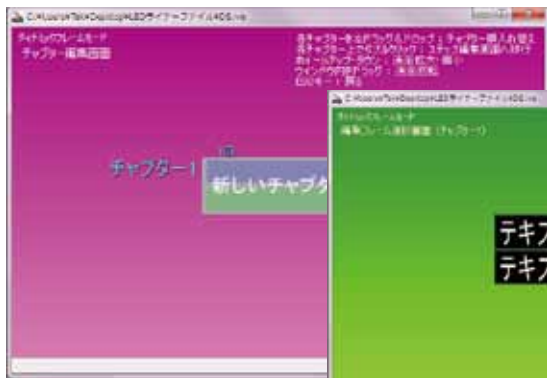
構成例：



- CP** チャプターポーズ： CPが入ったステップの表示終了後に一時停止し、全フレームに対し一時停止要求を出します。それを受けSPの入った各フレームが順々に一時停止し、完了後、2巡目に移行します。
- CE** チャプターエンド： CEが入ったステップの表示終了後に停止し、全フレームに対し終了要求を出します。それを受けSPの入った各フレームが順々に停止し、完了後、表示終了となり、再スタートまたは次のチャプターの表示開始となります。
- SP** 同期ポイント： CPリクエストまたはCEリクエストに対する同期ポイントになります。

ステップ編集例：

上記構成例にて実際にステップ編集を行う場合として説明します。



①フレームを上下2つに分け設定します。



②「フレーム1」側に、ステップ1、ステップ2、ステップ3をそれぞれ作成/編集し、それぞれ下図の通り、CP、CEを入れます。

ステップ編集例 【続き】:



②「フレーム2」側に、ステップ1、ステップ2をそれぞれ作成/編集し、それぞれSPを入れます。

SPを入れますと、ス

テップ表示下部に「SP」と表示されます。

実際の表示例:

構成例に基づき、フレームレイアウト、ステップ編集を行った場合の実際の表示は以下のようになります。



これで「ステップ編集」終了となります。18ページの「表示器データの表示器への登録、表示開始」へお進みください。

【参考】ビットイメージ作成方法

画像データの作成は描画ツールを利用して作成します。
ここでは一般的な「ペイント」ツールを利用した場合で説明します。



ご注意

スクロール、スライドイン以外のアクションでイメージ画像を表示させる場合、フレームレイアウトにて設定された表示エリアサイズより大きい、または小さい画素数でイメージ画像を作成し表示させると、表示エリアサイズに自動的にフィット表示されるため、伸縮されて表示されます。スクロール、スライドインアクションで表示させる場合は、フレームレイアウトにて設定された表示エリアサイズ、アクション条件に合わせて、通常大きい画素数でのイメージ画像を作成します。

- ①画像データは縦 32 ピクセルの倍数、横は 128 ピクセルの倍数で設定。
- ②色は白黒
- ③単位はピクセル
- ④光る部分は白、光らない部分は黒で作成ください。
(黒色で光る部分を作成し、最後に「色の反転」で反転)
- ⑤画像データ作成後、モノクロビットマップデータとして任意のフォルダーに保存。

表示器データの表示器への登録、表示開始

表示器データの作成 / 編集後、表示器への登録を行います。登録方法は二通りあります。

登録方法・手順

USB メモリーによる登録

作成 / 編集した表示器データを本機の表示コントローラ用の専用データに変換し、USB メモリーに書出します。

書出し



USB メモリー

USB メモリーによる登録

表示器

LAN 通信による登録

作成 / 編集した表示器データを表示器用の専用データに変換し、LAN 接続された表示器に登録を行います。



LAN

直接登録

LAN 通信によるニュース表示

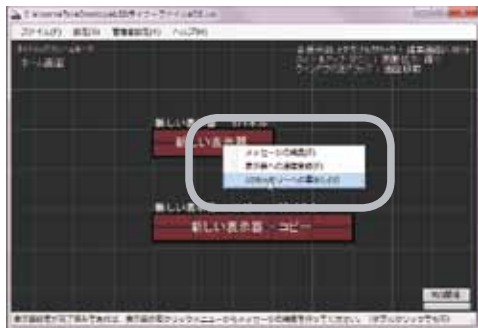
取得した最新のニュースメッセージを表示パネル用の専用データに変換し、LAN 接続された表示器に登録を行います。

ご注意 RSS+ モード時に有効な機能です。

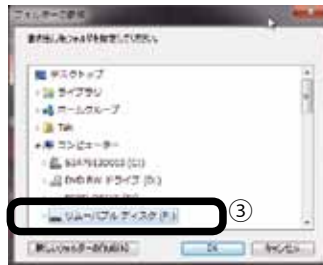
RSS によるニュース表示機能については 20 ページの「ニュース表示機能設定、本機への登録」を参照ください。

USB メモリーによる表示器データの登録

- ①まず、USB メモリーをパソコンの USB 端子に挿入します。USB メモリー内には他のデータ、ファイルが入っていてもお使いいただけます。



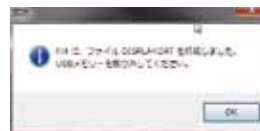
- ②表示器データを登録したい表示器アイコン上で右クリックし、「USB メモリーへの書出し」を選択します。



- ③「フォルダーの参照」画面が表示され、通常、挿入した USB メモリーが選択された状態で表示されますので、「OK」ボタンを押します。



- ④「USB メモリーへの書出し」画面が表示され、ステータス表示されます。



- ⑤「成功」画面が表示されたら書込み終了です。USB メモリーをパソコンから抜いてください。

- ⑥表示器の電源を入れます。

ご注意 電源投入直後は内部処理を実行しておりますため、約 50 秒間 USB メモリでの登録ができません。

- ⑦専用表示器データのついた USB メモリーを表示器マスターユニットの USB メモリー端子に挿入しますと、自動的に表示器データの登録が開始され、マスターユニット上にステータス表示がされます。

ご注意 表示器へ登録中は絶対に USB メモリを抜かないでください。登録する表示器データ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。再登録を行う場合、電源を切らずに連続して行えます。

- ⑧登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。表示スタート後は USB メモリーを抜いてもかまいません。

複数セット設置の場合は、他の表示器登録を行う表示器上で①と同様の操作を行います。

LAN 通信による表示器データの登録

LAN 通信設定（管理者モード）



- ①まず、LAN の通信設定を行います。管理者モードに移行後、LAN 通信設定を行う表示器アイコン上で右クリックし、「通信設定」→「IP アドレス」に進みますと、右図のような画面が表示されます。
- ② IP アドレス記入欄に、予め表示器に設定された IP アドレスを入力します。
- ③同様に、「TCP ポート」にも予め表示器に設定された TCP ポート番号を入力します。
- ④入力後、「ESC」キーを押して、「ホーム画面」に戻ります。

管理者モードについては 8 ページの「管理者モードによる表示器の設定」を参照ください。

表示器本体の LAN の通信設定については、取扱説明書の「表示器の LAN 通信設定」を確認ください。

表示器データの登録



- ①表示器の電源を入れます。
- ②表示器データの登録を行う表示器アイコン上で右クリック → 「表示器への通信登録」を選択しますと自動的に表示器データの登録が開始されます。
- ③登録が完了すると、自動的に表示スタートとなります。

複数表示器を設置している場合は、他の表示器登録を行う表示器上で①と同様の操作を行います。

- ご注意**
- ・表示器へ登録中は絶対に LAN ケーブルを抜かないでください。
 - ・登録する表示器データ次第では、登録時間が長くなる場合があります。

ニュース表示機能設定、本機への登録

ニュース表示機能について

作成・編集した表示器データの表示以外に、RSSにてニュース表示データを自動的に取得し、そのニュース表示データを本機に登録し、表示させることができる機能です。この機能はインターネットに接続されたパソコン上に常駐させることにより機能します。

ニュース表示機能の設定には2通りの方法があります。

①お客様独自のニュース配信を利用する場合

お客様独自のRSSフィードのURLを直接入力して利用する方法になります。
著作権を有する情報は配信元の許諾、契約が必要です。

②当社指定の配信会社のニュース配信を利用する場合

当社指定の配信会社とニュース配信契約いただくと、専用のURLを配布します。そのURLを入力して利用する方法となります。

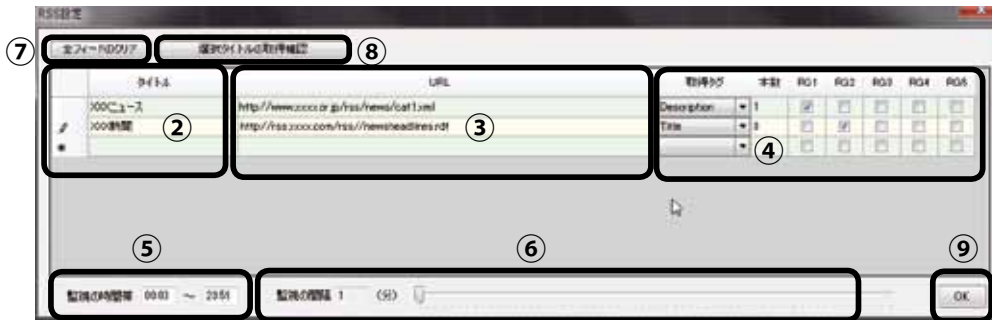
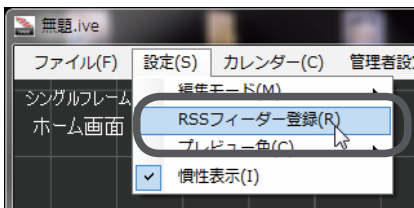
ご注意

- ・iVE Editorを「RSS+」モードで起動してご使用いただく必要があります。5ページの「通常モード→RSS+モードへの移行」参照ください。
- ・iVE Editorを常駐させるパソコンは常にインターネットに接続されている必要があります。
- ・ニュース表示データの本機への登録の際、通常の表示器データ登録と同様、登録中は全消灯します。

ニュース表示機能（RSSフィード）設定

ニュース表示機能（RSSフィード）の設定を行います。

- ① ホーム画面「設定」→「RSSフィード登録」を選択しますと、フィード登録画面が表示されます。



- ② 任意のタイトルを入力します。

- ③ 任意のRSSフィードのURLまたは配信会社より配布されたURLを入力します。

- ④ 各種設定を行います。

抽出タグ：「Title」表題または「Description」要約文どちらを表示させるか選択します。

本数：RSSメッセージの表示本数（最新メッセージから過去何本まで）を入力します。

RG1~RG5：登録した各RSSフィードの組み合わせ表示設定を行います。組み合わせは5通り設定可能です。（RG=RSS Gr.）

- ⑤ ニュースの更新監視の時間帯を設定します。

- ⑥ RSSフィードの更新確認の間隔を設定します。

ご注意 パソコンのシャットダウン中に更新確認をしないように更新間隔を調整してください。

- ⑦ 全フィードをクリアします。

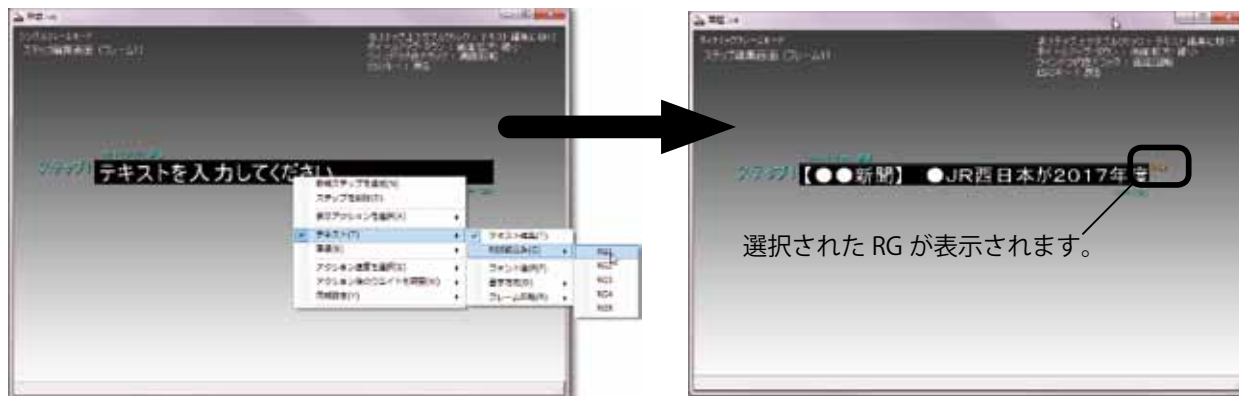
- ⑧ ニュースの取得確認を行います。実際のニュースデータが確認できます。

- ⑨ 「OK」をクリックして登録完了です。

ニュース表示データの取込み、編集

ニュース表示の設定を行います。登録した RSS フィーダーを、「ステップ編集」にて表示器データとして取り込む設定を行います。任意の文章の代わりにニュース文章を取りこみますので、それ以外は通常のステップ編集方法と同じです。ステップ編集については 13 ページの「表示器データの作成 / 編集 【ステップ編集】」を参照ください。

- ① 「ステップ編集」画面で、「テキスト」→「RSS 取込み」を選択しますと下図の通り、RG1~RG5 が表示されます。
- ② 「RSS フィーダー登録」にて予め組み合わせ表示設定された RG1~RG5 のどれかを選択します。



- ③ 取込みが完了しますと、プレビューエリアにニュースコンテンツが表示されます。
- ④ 通常のステップ編集と同様に表示アクションの選択、フォントの選択等を行い編集します。表示アクションは通常「スクロールアウト」を選択します。

ニュース表示の開始

インターネットに接続されたパソコン上に常駐させることにより、自動的にニュース表示データを自動的に取得し、表示を開始します。

- ① ニュース表示データの取込み、編集後ホーム画面に戻ります。
- ② ホーム画面上、RSS 取込み設定をした表示器アイコンの右側に「RSS」と表示されます。



- ③ 画面右下の「RSS 配信」ボタンを押し、配信を開始します。配信が開始されると、オレンジ色で点滅します。もう一度押しますと配信が停止します。

ご注意

- ・ 配信中はパソコンのスリープまたは休止設定を解除してください。
- ・ ニュース表示データの配信は、パソコン内部に一時保存された以前のデータと新たに受信したデータを比較し、更新されている場合のみ配信されます。
- ・ iVE Editor を再起動し、「RSS ボタン」を押しますと最新のデータが手動で配信できます。



お問い合わせ先

修理・使い方などのご相談・ご依頼、及び万が一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記までお問い合わせください。

●設定、取扱説明書に関するお問い合わせ先

☎0596-39-1119

(受付時間：平日 10:00～17:00)

Eメール：ipd@noritake-itron.jp

お電話の前に、以下の内容をご用意ください。

- ・品名：i-Catch LED Liner DS
- ・形名：IPD-005-XXLX
- ・シリアルナンバー
- ・お買いあげ日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所
- ・お名前
- ・電話番号
- ・Eメールアドレス

●故障、製品に関するお問い合わせ先

販売元：株式会社ノリタケカンパニーリミテド

製造元・営業代行：ノリタケ伊勢電子株式会社

●営業部 販売 G 名古屋

〒451-8501 名古屋市西区則武新町3丁目1-36

TEL:052-561-9741 FAX:052-561-9780 (受付時間：平日 10:00～17:00)

●営業部 販売 G 東京

〒105-8502 東京都港区虎ノ門一丁目13-8

TEL:03-6205-4424 FAX:03-3501-7313 (受付時間：平日 10:00～17:00)

●i-Products Gr.

〒516-1192 三重県伊勢市上野町字和田700

TEL:0596-39-1119 FAX:0596-39-1220 (受付時間：平日 10:00～17:00)

●ホームページ：<http://www.i-products.jp/>

●Eメール：ipd@noritake-itron.jp

※Eメール、FAXは随時受け付けております。

アイ・キャッチ LED ライナー ディーエス 操作マニュアル

●初版発行日：2013年11月

DS-1857-0801-00